

<第4議案>

## 2010年度収支予算（案）

15ページの2010年度収支予算書をもって、2010年度収支予算とする。

<説明>

2010年度収支予算のポイントは以下の通りである。

※ 以下、増減は、2009年度決算額との比較

2010年度は、常勤スタッフ2人体制の継続を前提に、調査委託の新規開拓などを通じて、単年度収支ゼロベースをめざす。2009年度からの繰越金は0円であり、赤字決算の場合は、「将来計画資金」から補填する。

年会費増をはじめ、ここにあげられた会費収入、事業収入、寄付金収入はすべて意欲的な見込みであり、収入増、経費削減における相当の努力が必要である。

### 1. 会費収入について

会費収入全体は約118万円の収入増を見込んでいる。これは、2009年決算において、例年よりも年会費の回収率が低かったことを勘案し（08年決算比で約58万円減）、いっそうの会費督促ならびに新規会員・購読者獲得努力によって増額を見込むものである。会員・購読者数の正味増は賛助会員相当で40口と見込みっており、予想される退会者、購読中止者の数を勘案すると、目標達成のためには、新規会員・購読者70名程度を獲得しなければならない。会員一人一人に新規会員・購読者の獲得にご協力いただくことを前提としつつ、メリハリのある努力を継続する。

### 2. 事業収支について

事業収入は約190万円の増、支出は約174万円の増を見込む。2009年度に実施できなかったイアブックとブックレットの出版による収入増などに拠るものである。

- ・イアブックでは、「2009—10年版」作成により収支黒字46万円（収入186万円、支出140万円）を見込む。
- ・ブックレット作成により収支黒字4万円（収入30万円、支出26万円）を見込む。
- ・調査委託費として110万円を見込む。

### 3. 助成金収入について

2009年度に達成できなかった100万円の助成金収入を見込む。

なお、宜野湾市からの調査委託事業は2010年度も継続しているが（2009年7月～2010年3月）、会計年度のずれから生じる複雑さを避けるために別会計扱いとしており、予算案に含めていない。同じく別会計扱いとして「将来計画資金会計」から30万円の支出を見込む。